



里海学びの講座③

「藻場造成と里海づくり」開催しました！



- 日時 平成30年6月1日(金) 18:30~20:30
- 会場 香川大学研究交流棟6F 第一講義室
- 講師 香川大学創造工学部教授 末永 慶寛氏

6月1日に、香川大学研究交流棟第一講義室にて、里海学びの講座③を開催しました。

今回は、香川大学創造工学部教授 末永 慶寛氏により、「藻場造成と里海づくり」をテーマに講義が行なわれました。

水質の浄化や、水生生物の生息の場として大切な「藻場」。しかし現在は沿岸域での開発などで藻場が減少しており様々な影響が出てきています。そのため、藻場の再生に取り組んでいますが、母藻の移設のために根から刈り取って移設しても生育しないなど、難しい課題が多いそうです。

末永先生は、特殊な形をした構造物を使用して藻場の再生に取り組む研究をされており、その構造物を使用することで、母藻を痛めることなく移設が可能となったそうです。この構造物は、東北の震災で影響を受けた沿岸地域でも活かされており、特に、コンブを食べてしまうウニの対策をとる研究では、コンブもウニも両方育てたいという地元の人々の要望に応えるべく、ウニの生態行動を踏まえた調査を様々行っていく中でようやくウニの食害を少なくする構造物の設置方法の開発にたどりつけたそうです。

講義の後半では瀬戸内海でのアサリについてもお話がありました。これまで瀬戸内海で豊富に採られていたアサリですが、沿岸の開発や生育環境の悪化で減少したそうです。瀬戸内海でのアサリの浮遊幼生の調査や幼生が影響を受ける潮の流れの様子などの解説がありました。